

# 思春期のこころの病

## ～その理解と援助～

最近耳にすることの多い『こころの病』 実は、子どもから大人まで誰でも罹る可能性のある身近な病気です。とくに思春期は、子どもから大人そして就職と、身体も環境も大きく変化する不安定な時期です。その時『こころの病』を発症したり、集団生活のしづらさから引きこもってしまう若者への、早期の対応は欠かせません。今回は、NHKの番組でもおなじみの青木省三先生に学校教育の中で増加している発達障害も含めた『思春期のこころの病』について語っていただきます。『こころの病』は323万人と年々増加傾向にあり、国民の5疾病に取り上げられています。都民の皆様、教育関係、そして企業の皆様、未来を託す若者達のこころの健康のために、多くの方々のご参加をお待ちしております。

講演

講師：青木 省三 氏 岡山県

(川崎医科大学精神科学教室教授)

略歴：1977年 岡山大学医学部卒業、精神科医  
1978年 慈圭病院勤務  
1993年 岡山大学医学部助教授  
1997年 川崎医科大学精神科学教室教授就任

著書：「僕のこころを病名で呼ばないで～思春期外来から見えるもの」  
「思春期こころのいる場所」  
「時代が締めだすこころ」 他多数

- ◇日時：平成24年2月8日(水) 開場 13:00 講演 14:00～16:00
- ◇会場：都庁第一本庁舎5階 大会議場 東京都新宿区西新宿2-8-1
- ◇定員：500名 (関係冊子無料配布) (新宿駅西口より徒歩10分)
- ◇参加費：無料
- ◇申し込み：不要 当日直接会場へお越しください

- ◇問い合わせ：地域生活支援センター あさやけ  
Tel 042-345-2077  
就労支援センター北 わくわかん  
Tel 03-3598-3337  
都精神保健医療課 Tel 03-5320-4464



- ◇主催：東京都  
東京都精神保健福祉民間団体協議会(略:都精民協)  
都精民協(都内精神保健福祉関連の総合団体9団体の集合体)は、都の委託を受けて精神障がい者等の相談・支援活動を行っている団体です。